

事業報告書

令和3年度

【令和3年4月1日から令和4年3月31日まで】

学校法人 山田学園

1. 法人の概要

- ① 名称：学校法人 山田学園【昭和43年3月28日法人設立】
- ② 住所等：大阪府守口市金田町2-27-10
電話番号 06-6901-8873
ファックス 06-6901-3199
ホームページ <http://kinda.ed.jp>
メールアドレス info@kinda.ed.jp
- ③ 設置する学校
学校の名称：認定こども園金田幼稚園（幼保連携型認定こども園）
- ④ 理事長氏名：山田 敏和
*理事6人、評議員13人、監事2人
- ⑤ 教職員の状況
(R3.4.1時点)
教職員数44人（内、常勤29名・常勤育休1名・非常勤13名・バス業務委託1名）
3年度新規採用者（常勤3名、非常勤1名）
(R4.3.31時点)
教職員数44人（内、常勤27名・常勤育休1名・非常勤15名・バス業務委託1名）
3年度末退職者（常勤1名、非常勤1名） 4年度新規採用者（非常勤1名）

2. 事業の概要（令和3年度金田幼稚園の概要）

① 教育方針

- 一人ひとりの子どもが園生活を楽しむ中で、基本的な生活習慣と社会に適応できる基礎的な態度が身につく。
- 一人ひとりの子どもが園生活を楽しむ中で、友達と力を合わせてがんばったり思いやりたりしながら充実感を味わう。
- 一人ひとりの子どもが園生活を楽しむ中で、豊かな感性を培うことができる環境を与え、素直に自己表現ができる。

② 学年、定員、実員（内訳）

	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	計
認可定員	9	12	12	60	60	60	213
R3.4.1	4	12	15	58	57	60	206
R4.3.31	6	12	15	56	58	59	206

1号認定子ども141名、2号認定子ども39名、3号認定子ども33名

③ ○ 教育時間

月～金曜日：午前保育時：午前9時～午前11時30分
午後保育時：午前9時～午後2時30分

○ 保育時間

月～土曜日 : 午前7時30分から午後6時30分

○ 日・祝日 : 休園

④ 費用等

(1) 入園までにかかる費用

入園検定面談料 (1・2号)	3,000円
受入準備金 (1・2号)	20,000円
施設充実費 (1・2号)	30,000円 ただし、0～2歳児から在園している場合は施設充実費は不要
施設充実費 (3号)	30,000円
冬制服一式 (体操服込) (1・2号) (制服類・制帽子)	20,320円 (男児) 20,760円 (女児)
冬体操服2セット (2歳児)	10,380円
スモック (1・2歳児)	1,260円
組帽子 (0～2歳児)	1,030円
連絡帳 (0～2歳児)	390円
用品代 (1・2号) (制靴含む)	(3才児) 15,300円 (4才児) 21,710円

(2) 入園後毎月必要な費用

保育料	園児の居住する市町村が定める額	
特定保育料 (教育充実費)	3,000円 (1号) 4,000円 (新2号) 5,000円 (2号) 2,500円 (3号)	
PTA会費	800円	
給食費 (1・2号のみ)	5,100円 (1号) 減免者は2,100円 ※370円 7,650円 (2号) 減免者は3,100円	
諸費 (年度末に精算し余剰金は返金)	5歳児 : 2,100円 4歳児 : 1,900円 3歳児 : 1,800円	
寝具類 (3号)	タオルケット (敷き・掛け2枚組)	1,050円
	布おむつ・カバー (半月ごとの精算)	5,850円 (0歳児) 5,250円 (1歳児) 4,650円 (2歳児)

(3) 利用者のみ必要な費用

バス利用料 (1・2号)	往復3,000円 (片道2,000円)
--------------	---------------------

(4) ホームクラス利用料

1号 認定	早朝保育		教育時間	預かり保育①	預かり保育②	
	7:30～	8:00～	8:50～14:30(午前保育 11:30)	～16:30	～17:30	～18:30
	100円 (1,000)	200円 (2,000)	♪	500円 (5,000)	200円 (2,000)	200円 (2,000)
2・ 3号 認定	延長保育		保育短時間		延長保育	
	7:30～	8:00～	8:30～16:30		～18:30	
	100円	100円	♪		30分100円	
	保育標準時間					
♪ 7:30～18:30						

※長期休暇中は別体系あり

⑦ 行事の実施状況（特に記載のないものは幼児）

- 4月/入園式（乳幼児）、進級式、参観、PTA総会、いちご狩り、懇談
 - 5月/夏野菜の栽培（年中・年長）、尿検査、運動参観（幼児）、園内研修
 - 6月/土曜参観中止、乳児参観懇談、移動動物園、内科・歯科検診、視力・色覚検査、プール開き、園内研修
 - 7月/七夕参観、ぶどう狩り（年少）、個人懇談、終業式、宿泊保育
 - 8月/始業式、土曜参観（乳児）、消防署見学中止
 - 9月/ぶどう狩り中止で遠足ごっこ（年中・年長）、敬老参観中止、園内研修
 - 10月/運動会、いも掘り（幼児）、遠足ごっこ（乳児）、園内研修
 - 11月/あそびの広場、消防音楽鑑賞中止、お店屋さんごっこおよび参観、みかん狩り（2～5歳児）、交通安全教室、園内研修
 - 12月/生活発表会（乳児）、ホットケーキパーティ、クリスマス会（乳幼児）、保育参加（乳児）後半は中止、小学生交流会中止（年長）、もちつき、個人懇談、終業式、園内研修
 - 1月/始業式、新入園児一日入園、内科検診、小学校見学中止（年長）、園内研修
 - 2月/豆まき、生活発表会、深北緑地遠足中止（幼児）、個人懇談（年長）
 - 3月/ひなまつり会、ホットケーキパーティ、小学校見学（年長）、体力測定（年長）、個人懇談（年中・年少）、お別れ会中止、卒園式、修了式
- *毎月、身体計測・避難訓練・食育活動・誕生会を実施
 コロナの影響により園庭開放は3回のみ
- *随時、子育て相談を実施

⑧ 今年度の主な目標および計画の達成度

今年度も引き続き新型コロナウイルスの影響が続いており、新しい生活様式を取り入れた

保育、行事の分散化、消毒等の徹底、マスクの着用などが必要であった。昨年度までコロナの感染者を出すことなく、保育を継続することができたが、今年度は9月に園児1名、1月から2月にかけては複数の園児、また、乳児職員2名の感染があり、抗原検査キットの購入や、職員による保育後の消毒、清掃作業およびおいつかない場合は消毒業者を利用したりして対応した。9月のぶどう狩りと2月の最後の遠足を中止し、子どもの楽しみを達成できなかったことは残念である。発表会と卒園式は厳格に人数制限のもとで実施し、卒園式は初めて実施方法を大きく変更したが、おおむね好評であったと感じている。

その他、特に3歳児での支援の必要な子どもの数が倍増し、集団保育の難しさを感じた1年であった。その他、コロナ禍の中でプライベートでの自粛および保育でのコロナ対応により、職員の精神的な疲弊感が感じられ、慰労会などの実施もできなかったことから、フォロー体制、精神的な変化に気をつけながら、過ごす必要がある。

研修については近畿地区教育研究大会および大阪府私立幼稚園連盟教員研修ともにネット配信されたため、幼児全職員が複数回研修を受講することができた。また、市や府主催の研修にも参加することができた。これに対し、乳児クラスの職員の研修受講は数人の受講にとどまり、不十分だった。

⑨ 経営にかんする部分

今年度は保育の充実のため、乳児クラスを主に余剰人員を採用したが年度途中で2名退職したことや、大型整備事業等がないこととあいまって、結果的に増収となった。ただ、次年度に向けた正規職員の募集が進まず、年度途中2名および年度末1名の3名退職に対して採用は0人という現実があり、就職フェアも面接にすらつながらなかったことを念頭に置いて今後の対応を考えていく。

コロナ休園および乳児クラスへの自粛要請に対して給食費および特定保育料の返金を行ったため、その分が減収となった。